

あなたの知らない図書館の世界

—進化する図書館—



学長 上泉 和子
カミイズミ カスコ

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活、皆さんは何度となく図書館に足を踏み入れることでしょうか。いや、足繁く図書館に通ってほしいと思っています。図書館というと、調べもの、本を借りる、図書や新聞、雑誌などを読む、試験勉強をする、といったところでしょうか。最近の高校生への調査では 1)、読書が好きと回答している人は6割ほどいるのに、一か月間に読む本の冊数が0冊の人が約半数でした。どこで本を読んでいるかという問いでは、自宅で読む人が最も多く、図書館で読むと回答したのは10%程度でした。紙の本を読むことよりも電子図書の普及も大いに自宅で読むことに繋がっているのかもしれないね。



さて、大学に入学したということは、本を読むのが好きとか嫌いとか言っている場合ではなく、本を読まなければ話になりません。新たな知を創造する研究者への第一歩を踏み出そうというわけですから、先達たちの叡智を探り、深く考え、学問の道への第一歩を踏み出してほしいと思います。そのためには、図書館が欠かせません。

その図書館がこのところ様変わりしています。あなたがこれから使っていく図書館を、賢く使うために、図書館の二つの進化の世界をご紹介します。

1. 図書館+情報

図書館というのは、知のシンボルとして、脈々とその機能を果たしてきました。図書館の機能には、①図書館資料の収集、②図書館資料の整理、③図書館資料の保存、④図書館資料の提供、⑤集会活動、行事の実施、⑥資料及び図書館利用に関する指導、と説明されています。

時は1990年代。インターネットが1989年に世界的なネットワークとしてスタートして、爆発的にデジタル革命がおこりました。世界中で電子ジャーナル化の動きがすすみました。かの国立国会図書館も1990年から電子図書館として、デジタルコレクション、資料のデジタル化など、急速に発展しています。図書館学に情報学が加わって、図書館情報学が生まれました。本学の図書館のHPをみてください。蔵書検索のページでは「データベース・電子ジャーナル一覧」がでてきます。

もちろん物理的環境も様変わりし、メディアスペース、充実した文献検索システム等、本学でも年々整備されています。図書館の機能は情報と切っても切れない仲になりました。情報センターとしての機能が日々充実してきています。

図書館の機能が飛躍的に拡大しています。あなたの知らなかった図書館の機能、ぜひ活用してほしいです。

2. 図書館+議論と憩いの場

二つ目の進化は、議論と憩いの場としての図書館です。かつて図書館は話をしてはいけない場所であり、ページをめくる音にも気を使うほどの静かな場所でなければなりません。もちろん何か食べるなんてことはご法度でしたよね。でも、図書館にグループ学習室が整備されワイワイと議論する姿も見られるようになりました。カフェが併設された図書館もできてきています。もちろん図書館の全部がワイワイというわけではありませんが、図書館の中にこのようなスペースが生まれてきました。議論やお喋りの中からアイデアが生まれ、リラックスした憩いの場から豊かな発想が生まれる、そんな図書館の進化です。本学にはカフェはありませんので、残念ながら飲んだり食べたりできません。でも、議論できるグループ学習室はありますので、どんどん活用してほしいと思います。

たくさんの人たちが集い、憩い、そこから新たな“知”が生まれていく、そんなことを思い描いています。



二つの進化について述べてきましたが、最後に、“図書館に行きましょう！”と言っておわりにします。近頃、図書館に行かなくても図書館の機能を利用することができるようになりました。でも、図書館には、文献を探すだけでない、あなたの知らないたくさんの機能があります。図書館にはあなたの学習の強い味方である“図書館司書 (Librarian)”がいます。「さすがプロ！」ときっと言いたくなる、そんな図書館司書の方たちと仲良くなりましょう。

1) 株式会社浜銀総合研究所. 平成 26 年度文部科学省委託調査高校生の読書に関する意識等調査報告書

http://www.kodomodokusyo.go.jp/happyou/datas_download_data.asp?id=28

